

「キーワードで読むガイアの夜明け」はテレビ東京系列で放映中の番組「日経スペシャル ガイアの夜明け」と連動した紙面企画です。番組テーマに関連したキーワードについて多角的に解説することで番組への理解をより一層深めます。

8月30日の放送テーマは「高級車戦争!レクサスvs欧州車~トヨタの新たなる挑戦~」。ここから、国内外における自動車市場の攻防をキーワードに、その変遷と戦略などを展望します。

特別内覧会に臨む、レクサス荻窪ゼネラルマネージャー高岩謙一郎さん



日経スペシャル  
キーワードで読む  
ガイアの夜明け

Global map

	2004年生産台数(万台)	02年比(%)
米国	1,199	-2.4
日本	1,051	2.4
ドイツ	557	1.8
中国	507	54.1
フランス	367	-0.8
スペイン	301	5.2
カナダ	271	3.0
ブラジル	221	23.4
イギリス	186	2.1
メキシコ	156	-13.3
インド	151	69.6
ロシア	139	13.9
イタリア	114	-20.3

日本自動車工業会資料より

世界の自動車生産地図は大きく塗り替わりつつある。九四年以降、個別自動車生産台数首位を続けてきた米国はしだいに力を失い、首位は維持しているものの、日本との差は縮まっている。乗用車・トラックバスを合わせた四輪自動車生産合計では、二〇〇四年には米国が千九十九万台で、第二位の日本千五十一万台との差は百五十万台足らずとなっている。

米国の生産台数には日系メーカー車種別輸入統計でも、トヨタは九

塗り替わる世界の生産地図  
中国の富裕層市場が台頭

六年三万六千六百台が〇一年には千九百台に落ち込んだ(〇四年は二万台に急回復)。ホンダは九六年四万八千台が〇四年九千台、日産自動車は同期間二万八千七百台からわずかに五千七台へ、三菱自動車も同期間四千四百台から百七十四台へと激減している。

日本での自動車生産は、製造業の衰退を指摘されたこの十年間、四輪車全体でほぼ一千万台前後で推移してきた。九〇年前後に記録した千三百万台の高水準には及ばないが、国際分業を進めながら付加価値の高い四輪乗用車の生産比率を高めたから全体的には安定的に生産台数を保ってきている。

一方、生産台数を増やしているのはBRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)諸国である。特に中国では、経済発展による富裕層の形成で国内市場が膨らみ、各国の主要メーカーが競って生産拠点を確立。生産台数が拡大している。〇二年三百二十九万台だった四輪自動車生産台数は、二年後の〇四年で一・五倍以上の五百七万台に急増した。

当初、中国は生産拠点として世界市場への大輸出基地になるものと予

自動車市場、攻防の変遷

国内自動車市場で高級乗用車の販売合戦が熱気を帯びている。テレビ東京系列の「日経スペシャルガイアの夜明け」(毎週火曜日放送)は三十日、国内販売攻勢を強める輸入高級車とこれに反撃を始めた国産メーカーの激闘を描く「高級車戦争!レクサスvs欧州車~トヨタの新たなる挑戦~」を送るが、本紙特集では、国内市場の輸入自動車の歴史と日本メーカーの戦略を振り返ってみる。

しかし、高級車のイメージは、やはり、長らく欧米メーカーの乗用車だった。古くは、キャデラック、シボレー、フォード、リンカーン、ロールス・ロイス、ベンツなど

国内新車市場が低迷する中で、このところ日本の消費のリード役になりつつある富裕層を照準に据えた戦略だ。これに対して欧米からの輸入車の販売攻勢も強まって、国内高級車市場はにぎやかになりそうだ。

国産メーカーの「高級乗用車」はトヨタのセルシオ、日産自動車のシマが一時期、人気を集めて話題を呼んだ。富裕層の需要を喚起するともに、黒塗りのハイヤーや社用車としても両車種が街中を疾走する姿が目についた。

国内高級車市場に熱気  
高水準維持する欧州勢

だが街中をささっと走って「外車」の高いイメージを振りまいた。現在でも、外国車の存在はさらに大きくなり、ベンツのほか、BMW、アウディ、プジョー、ボルボ、フォルクスワーゲンなどがよく目につく。必ずしも、「高級車」ばかりではないが、輸入車種の動向をみると、国内市場の変化がうかがえる。

二〇〇四年の外国車の車種別新規登録台数では、トップが「ゴルフ」を筆頭にフォルクスワーゲンの約五万五千三百台、次にメルセデス・ベンツの四万四千三百台、BMW三万八千七百台(MINIを加えると五万七千七百台)と続く。その後はやや差が開いて、ボルボが一万四千四百台、アウディ一万三千八百台、プジョー一万二千六百台となっている(万台未満切り捨て)。

一九九〇年代半ばと比較すると、フォルクスワーゲン、メルセデス・ベンツは二〇〇〇年前後をピークにしてやや減少傾向にあるが高水準を維持し、BMW、アウディ、プジョーなどは、徐々に増加しつつある。

逆に九六年には二万三千七百台を記録したシボレーは〇四年には八分の一の二千九

番組の見所

世界に冠たる日本車  
欧州車の牙城崩せるか

都内の高級住宅街を歩いて観察してみると、ガレージに止まっている車の多くがベンツ、BMW、アウディ、ボルボなどの欧州車。世界に冠たる日本製の車ですが、高級車分野においてはブランド力で欧州勢に劣っています。そこに挑むのは、あのトヨタ。アメリカで成功を収めた「レクサス」ブランドを、ついに日本に投入するのです。売り物はトヨタ自慢の性能と品質、そしてこれまでにない充実したサービスの提供。世界のトヨタは、欧州車の牙城を崩せるのでしょうか。高級車市場を巡る戦いを、1年近くにわたる長期取材で追いました。

テレビ東京プロデューサー  
斉藤 直宏氏

百台に落ち込み、フォードは二万三千二百台から五千八百台へと四分の一になり、クライスラーも一万七千四百台から半分以下の六千五百台へと減少した。一時はよく見かけたオペルも九六年の三万八千三百台から〇四年の千六百台へと激減した。

この変化は国内市場の事情だけでなく、海外の自動車メーカーの盛衰を反映したものである。

本格的経済ドキュメンタリー番組  
「日経スペシャル ガイアの夜明け」

案内人/役所広司 ナレーター/蟹江敬三

火曜よる 10時

- テレビ東京・テレビ北海道・テレビ愛知・テレビ大阪・テレビせとうち・TVQ九州放送
- BSジャパン(水曜よる7時55分)
- 日経CNBC(土曜よる12時)

無料登録

インターネットで詳しい情報をご覧ください。  
<http://www.tv-tokyo.co.jp/gaia>



提供スポンサー

Canon YAMADA 三菱東京フィナンシャル・グループ 三共 BRIDGESTONE 村田製作所 TKC全国会 NEC POWEREDCOM 日本経済新聞社